

### 第3回入札監視委員会会議録

1. 開催日時 平成28年1月28日(木)  
午後4時00分～午後5時30分
2. 開催場所 高浜市役所 4階 第5会議室
3. 出席委員 委員長 児玉善郎(大学教授)  
委員 丹羽重則(元市収入役)  
委員 奥野暁(土地家屋調査士)
4. 事務局職員 新美総務部長、内田グループリーダー、杉浦主幹、  
中根主査、稲垣主任
5. 議事概要

(1) 平成27年度 後期入札案件の検討について

平成27年度後期検討案件	9件
内 条件付一般競争入札案件	5件
指名競争入札案件	4件

(2) 公共工事等の入札に係る予定価格の事後公表に関する試行要領(案)について

主な質疑・回答

質問・意見	回 答
<p>(1) 平成27年度 後期入札案件検討について</p> <p><b>【工事入札にかかる高落札率案件①～⑤】</b>  <b>①公園維持補修工事(論地どんぐり公園)</b>            (土木一式工事：条件付一般競争入札)</p> <p>○高浜市での設計金額は、この金額だが、他市が積算すると、これより高くなるということはあるのか。</p> <p>○他市も同じ条件で積算しているのなら、高浜市は落札率が高いということにならないか。</p>	<p>○県の設計単価で積算しています。県の単価がないものについては実勢価格で組んでいます。それほど差は出ないと思います。</p> <p>○自治体規模が大きいと、それだけ工事の発注件数も多く、たとえば仕入なども大量にできるのでコストを安くできるとい</p>

<p>○事務局は落札率が何パーセント以上だと高止まりだと考えているか。</p> <p>○たとえば近接で同じ業者が工事をしている場合、人工が兼ねられるので費用的に有利になるか。</p> <p>○応札業者が少ないが、他の業者はなぜ参加しなかったと思うか。</p> <p>②三高駅西駐車場改修工事 (建築一式工事：条件付一般競争入札)</p> <p>○予定価格超過で応札している業者があるが、予定価格事前公表としている中で、どうしてこのようなことになるのか。</p> <p>○積算間違いや、他意はなく、自社としてはこの金額がかかるということか。</p> <p>○応札可能な業者は何者か。</p> <p>○予定価格を事前公表していて、応札可能業者が8者なのに、応札が4者しかない。</p> <p>○入札は、どこの会社が応札しているとかは、業者はわかるようになっているのか。</p> <p>③舗装修繕工事(市道稗田川線) (土木一式工事：条件付一般競争入札)</p>	<p>う点で有利な面はあります。</p> <p>○一概にはいえませんが、過去の落札率と比較して95パーセントを超える状態が続くと高止まり傾向にあるかと思いません。</p> <p>○近接工事で同じ業者が落札すれば、諸経費が安くすむ分があるので、積算しなおして減額の変更契約をします。</p> <p>○応札しなかった中には造園会社、園芸会社があります。あまりこういう工事は得意でないということが考えられます。</p> <p>○業者に確認したところ、監督が下請に見積を取ったり、積算した価格を積み上げた結果、この金額になったということです。</p> <p>○はい。積算ミスではないそうです。</p> <p>○市内業者6者に準市内業者が2者の8者です。</p> <p>○予定価格超過で応札した業者と話をしたところ、予定価格が厳しい、という話でした。この工事は駐車場を使用しながら工事を行っているので、仮設をどう組むかで積算者によって、価格差が開く案件だと思います。</p> <p>○いいえ。入札終了後の落札結果は公表しますが、それまでは途中の状況はわかりません。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>○4番札の業者は予定価格でそのまま応札しているが、落札する気はあるのか。</p> <p>○この業者は、今は何に力を入れているのか。</p> <p>④道路維持補修工事(市道追戸線) (土木一式工事：条件付一般競争入札)</p> <p>○後期の土木・建築工事案件は①から④の4件だが、落札業者は1者が3件、もう1者が1件となっている。落札していない市内業者の状況は把握しているか。</p> <p>⑤排水路ポンプ修繕工事(乞殿排水ポンプ場) (電気工事：条件付一般競争入札)</p> <p>○予定価格はどう積算したか。</p> <p>○各社の応札価格にそれほど差がない理由はどうか考えられるか。</p>	<p>○業者と話をしたところでは、今は建設部門には力を入れていないようで、安い価格で競争してまで取ろうとは思っていないようです。</p> <p>○民間の開発部門や、福祉分野に力を入れているそうです。</p> <p>○前期から中期で入札のあった下水道工事を受注しているので、その工事を行っています。</p> <p>○施設の建設時に製造したメーカーに各機器類の見積りを徴収して、設計しました。</p> <p>○機器類の価格にはそれほど差が出るものではないため、あとは設計担当者が機械の設置場所を変えたりすることで差が出てくるぐらいなのだと思います。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【①～⑤ 総括審議結果】**

①、③、④の案件は工事の規模が小さいこともあり、規模の大きな工事を多く扱う他自治体の業者と比較して、材料仕入れのコスト面で有利に働かないことが、高落札率の一因と考えられた。また技師の人材不足で、たくさんの工事を同時に応札することができず、落札業者が限定されている状況にあることも競争性を阻む理由と考えられた。②の案件では駐車場を使用しながらの工事で、積算者が仮設をどう組むかにより積算価格に幅が出て、予定価格の積算が現場とは認識の違いがあり、厳しい価格であったことが、高落札率に繋がったと考えられた。⑤の電気工事は、機械設備の修繕工事で、仕入れの機械類の価格はそれほど差が出ないため、あまり応札価格に差が出ず、予定価格もシビアなものだったため、高落札率となったと考えられた。

全体的に工事入札については、条件付き一般競争入札で応札参加者数が少ないこ

とが、競争性が発揮されず、高落札率になっているのではないかと考えられた。

⑥防災備蓄倉庫 【高落札率案件】

(物品：指名競争入札)

○見積りは、どこから取りましたか。

○結構、応札価格に差が出ているが何故と考えられるか。

○この倉庫の取り扱い業者は指名した業者以外にもあるのか。倉庫を製造した会社がいくらで卸すか把握しているか。

○製造業者から直接購入することはできないのか。

○落札業者と予定価格超過となりましたが4番目の応札価格となった業者から取りました。

○防災用品を扱っている会社にも、それぞれ得意な分野があり、倉庫についてはこのような結果になりました。

○取扱い業者が他にあるのか、いくらで卸すのか、そこまでは把握していません。見積業者が見積りを出した時点で、シビアな価格で出してきた、その後資材の高騰もあり、それがこの結果となっていると思われます。

○製造業者は造るだけで、直接販売はしていません。倉庫の設置等を行いませんので、防災用品を扱う商社に卸すこととなります。

【審議結果】

この案件は落札率が高い案件であるが、予定価格が始めから厳しい価格であったこと、またその後、資材の高騰により予定価格超過の業者が多数出たことが、このような結果につながったと判断された。

⑦非常災害救助用毛布 【低落札率案件】

(物品：指名競争入札)

○見積りはどこから取りましたか。

○予定価格となった初めの見積書の価格と、応札価格が随分、差があるのは何故か。

○1番札の業者と2番札の業者です。毛布につきましては昨年も低落札率案件で取り上げられました。

○物品では最初の見積書提出のときは競争をしていないので、一般的な製品価格で見積りを出し、実際に入札となると競合他社と競うので、そこは企業努力をして応札する、というのが企業戦略として見受けられます。

<p>○⑥の倉庫のときは、各社それほど予定価格より下げないで応札しているのに、⑦の毛布については下げて応札してきている。これは下げないと取れないと、わかっているからか。</p>	<p>○先ほどの倉庫は資材が高くなり、製造業者から購入したうえで、という中での競争だったので、あまり価格を下げられませんでした。毛布につきましては、それまで落札していた業者が前年度、取れなかったこともあり、一層企業努力したと思われま</p>
<p><b>【審議結果】</b> この案件は防災用品を扱う業者が広く取り扱う用品のため、参加業者の競争性が高まり低落札率となったと考えられた。とりわけ、昨年落札できなかった業者と昨年の実績業者との間で高い競争性が発揮されたため、このような結果になったと判断された。</p>	
<p>⑧中学校楽器の購入 <b>【高落札率案件】</b> (物品：指名競争入札)</p> <p>○見積りはどこから取りましたか。</p> <p>○では見積業者と落札業者は違うということですね。</p>	<p>○2番札の業者から取りました。</p> <p>○そうです。</p>
<p><b>【審議結果】</b> この案件は新規指名業者となった業者が落札したが、予定価格がシビアだったために落札率としては高くなったと判断された。</p>	
<p>⑨港小学校教育用コンピュータ及び学習用ソフト等の賃貸借に伴う機器類の基本価格 <b>【高落札率案件】</b> (物品：指名競争入札)</p> <p>○これはリースということか。</p> <p>○予定価格は、どう決めたのか。</p> <p>○一般的な感覚でいえば、パソコン機器はたくさん買うと安くなるのでは、と思うが</p>	<p>○入札に2段階ありまして、まず物品買取を先にした上で、次にリース業者を決めるというもので、これはまずその機器を決めるというものです。</p> <p>○1番札と3番札の業者から取りました。</p> <p>○予算編成の際に、厳しい編成をしまして、当初見積りを取った後に再調整をして、下</p>

<p>ほとんど見積り価格から、応札価格を下げられないというのは、この後のリースに関わってくることに理由があるのか。</p> <p>○初めから、リース会社からのリースという形はできないのか。</p>	<p>げた金額で予算を組みました。このため予定価格がシビアなものとなっています。</p> <p>○仕様書にパソコン等に不具合が生じた場合は現地に来て対応するとありまして、この地域の電気機器を扱う会社からの購入としています。</p>
<p><b>【審議結果】</b></p> <p>この案件は、予算編成の際の調整で初めから予定価格を厳しくしているため、結果的に高落札率となったと判断された。</p>	
<p>(2) 公共工事等の入札に係る予定価格の事後公表に関する試行要領(案)について</p> <p>○他市では、落札率何パーセント以上を高止まりと考えているのか。</p> <p>○当市の事情として財政的に厳しいので、予算編成の段階から絞り込んでおり、担当課が当初見込みより、低い金額で予定価格を決めていることも落札率が高くなっている理由ではないか。</p> <p>○本市の事情として、市内業者に限定される条件付き一般競争入札は応札参加者が少なく、また予定価格事前公表は業者が自ら積算する技術を高めるのに適切か、という問題がある。準市内業者が参加できる工事でも参加者数は少ない。ということは地域性を広げても、あまり参加者数は変わらないのでは、と思われる。</p> <p>予定価格の金額が高いものというのではなく、いろんな工種で予定価格事後公表を選定していただきたい。試行して少ない業者数の中でも、競争性が発揮されて落札率に影響が出てくるのか、見てみたい。</p>	<p>○一律の基準はありません。他市から見ても、その市では高止まりでないと思えていた場合もあります。</p> <p>○物品や委託業務では、そういうことはあります。工事は歩切が禁止されていますので、設計金額から切っていることはありません。設計については担当者の想定より、実際の現場から見た場合にもっと必要なものがあり予定価格よりも高くなる場合は考えられます。</p> <p>○今後、この案を上程し、予定価格事後公表の案件については、入札参加者等審査委員会で選定する方向です。</p>

**【審議結果】**

この試行要領（案）を事務局が上程し、平成28年度より予定価格の事後公表を試行的に行う方向で進めていくことが了承された。